関東制圧オリジナルシナリオ

■上田原
〔天文17年(1548)2月、上田原の合戦〕
天文16年、佐久において最後まで抵抗した笠原勢の籠もる志賀城を降した晴信は、越年の後、間を置かずして北信濃の一大勢力村上義清を攻めるに為甲府を出立した。
一方、前年の志賀城陥落時における人身売買等、甲州勢の悪行を知る村上勢は、故郷の地における狼藉を思い、これを阻止せんと将兵一丸となって甲州勢を待ち受けていた。

・使用地域
　甲斐・ヘクスxx16以南の信濃
・ターン数
　4ターン　(2月第1週～2月第4週)
・プレイヤー
　2人(1)武田方:武田氏
　　(2)村上方:村上氏

・配置
　武田方が先に配置

〔武田方〕
武田氏
(1)ヘクス1230(躑躅ヶ崎)
付属する全てのユニット(20ユニット)

〔村上方〕
村上氏
(1)ヘクス0416(葛尾城)又はヘクス0919(戸石城)
付属する全てのユニット(16ユニット)

・持ち城
武田:躑躅ヶ崎(本城:1230)・小諸(0919)・上原(0524)
村上:葛尾城(本城:0416)・戸石(0919)
上記以外は使用しません。

・勝利条件
勝利条件は以下の通りです。
1.互いに相手の総大将を除去した場合は直ちにその陣営が勝利します。
2.武田勢は、武田晴信ユニットが連絡線を設定できる状態で葛尾城に隣接したら直ちに勝利します。
3.ゲーム終了時、損害の少ない陣営が勝利します。
4.上記以外は村上勢の勝利です。

・特別ルール
1.このシナリオでは補充を行なえません。
2.天候は「融雪」状態です(「関東制圧」ルール32-2参照)
3. 深志城(0121)周辺は、信濃守護・小笠原長時の所領でした。よって、深志城とその周囲1ヘクスには両軍とも進入及び連絡線の設定は行なえません。

・注意事項
・このシナリオのプレイには「関東制圧」のマップ、マーカーが必要です。
・ルールは秀吉軍記以降のルールに則って下さい。
・行動の順番は、村上勢・武田勢の順です。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

　このシナリオは、「関八州古戦録」の河越シナリオ同様、大河ドラマ「風林火山」を観ていて思い付き、勢いだけでででっち上げた代物です。
今年の大河は、昨年までの腑抜けた戦国ファミリードラマとは違いハードで大変面白いです。
1ユニットは500人、武田勢ユニットの半数弱が2戦力と弱体なのは、連年の出兵で将と兵卒が疲弊しているのを表しています。
テストはソロプレイのみで、対人プレイで検証していませんが、バランスは悪くない筈です。
なお、本シナリオは「関八州古戦録」が無くてもプレイは可能です。
2007・8・17　錦大帝

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

※上記文章は夏コミ配布時の物

初出:2007年夏コミ
第二公開:2008年11月